

2010 年11 月17 日

### 演習活動

- 1) 7:30~9:30 Hope銅鉱山訪問,  
Namib-Naukluft 国立公園における鉱産資源についてのディスカッション,  
ナミブ砂漠の固有植物 ウェルウィッチア (奇想天外) の観察
- 2) 9:30~10:30 ホメブにおけるシルト堆積層の観察と環境変遷の検討
- 3) 10:30~12:30 Oswater菜園プロジェクトの見学とオズワード村とホメブ村における  
トップナールの人びとへのインタビュー
- 4) 12:30~14:00 Natab村のトップナールの人びとへのインタビュー

1)

演習タイトル : ホープ銅鉱山の歴史と現在

講演者 : Mr. David (Gobabeb Training and Research Centre)

キーワード : 断層, 英国, ドイツ, ダイヤモンド, 外国企業

### 要約

本演習は, Gobabeb Training and Research Center のインターン生, David 氏によって行われた。場所は, われわれが宿泊する Gababeb Training and Reseach Center より, 約 30km 東に離れたホープ銅鉱山である。

ホープ銅鉱山は, 1700 年ごろより英国によって採掘が開始され, 1900 年になるとドイツの手に移っていった。David 氏によると, ダイヤモンドの採掘は 1925 年に開始されたという。

現在は, ウラニウムの採掘を手がけるオーストラリア, フランス, ロシア等の鉱山会社がこの地に参入し, その数は 30~50 社にのぼるといふ。現地では, あるオーストラリアの企業が地質調査のために掘ったという, 深さが 40~600 メートルに及ぶ穴をいくつも見ることができ, この地がいかに世界から注目されているか, その一端を感じることができた。

2)

演習タイトル : ホメブにおけるシルト堆積層と環境変遷

講演者 : 水野一晴

キーワード : 氷河時代, シルト, 堆積

## 要約

ホメブ地区では、何層にも重なったシルト層が見られる。シルトとは、砂よりも粒子が細かく、粘土より粗い堆積物のことをさす。このシルト層は、数十メートルの高さにもものぼる、大変珍しいものである。水野氏によるとその形成期は、今から 2 万年前頃の氷河時代にあたり、世界の多くの地域で乾燥していたにもかかわらず、ここでは湿潤な環境で洪水が生じ、長期間水が滞留したことにより形成されたという。

3)

演習タイトル : Oswater ガーデン・プロジェクト

講演者 : Oswater 村の住民

キーワード : ガーデン・プロジェクト, 政府, ツーリスト

## 要約

先述したシルト層のある場所から、徒歩で 20 分ほど歩いた村では、Oswater ガーデン・プロジェクトと呼ばれる砂漠での農耕計画を見学した。この地区には 4 世帯が暮らすのみである。給水タンクやホースといった耕作に必要な道具を政府が支給するというこのプロジェクトは 2003 年に開始され、キャベツやすいか等の栽培が、彼ら住民によって試みられている。これらの作物は自家消費用ではなく、むしろ販売用である。また、彼らの生活を支えているのは、この地を訪れるツーリストの存在だと話す。

(報告者 : 園田浩司)